

# 『銭湯で遊ぼう！』

## スタッフ反省会

閉会後にスタッフたちがあげた  
反省点や良かった点

作成：2009.03.19

NPO 法人ソーシャライズ



## 蛇口

- ・ 押すと水が出てしまう。出ないようにする方法はないか。
- ・ マットがあった為、濡れないで済んだ。

## マット

- ・ カランのところに立てて配置して良かった。
- ・ 立てた左右のマットを カラン台を囲む形でグルッと挟み、これを横と縦の紐で安定させて止めたのが良かった。これを、横1段だけでなく、横の中部と上部とで2段で結べると、なお良かった。

## お風呂の床

- ・ マットが無いところは、転んだら危ないので、少し怖かった。紐などで進入を防ぐなど対応したらさらに良かった。

## 変身ミラー

- ・ 来てくれた子どもたちの年齢には、ちょっと使い方が難しかったかも。
- ・ 遊び方を分かりやすくすると良いかも。
- ・ 子供は張ったり剥がしたりするだけで楽しいから、使い方の説明はあまりいらないかも。
- ・ 種類を増やしたらもっと良かった。一瞬取り合いをする子どももいた。

## 準備

- ・ 予想以上に会場設営に時間がかかった。
- ・ 次回は、全員が同じ時間に集合できるようにしたい。(今回はトラブルなどがあり集合にばらつきがあった)
- ・ 予め、準備の作業分担をしておくとう良かった。
- ・ 準備前に、それぞれの設備についての説明を行い、施設の使い方について情報共有があれば良かった。(よりスムーズに来場者をサポートできるようにするため)
- ・ 当日全体の集合時間は、決めておいたほうが良い。(個人の事情は十分配慮する)

## 開始

- ・ 開場と開演を別けて、30分置いたことがよかった。
- ・ 来場者も荷物を置いたり、開場に慣れるなどの時間にもなった。

## 自転車

- ・ もっと来場者が増えたときは、自転車整理担当が必要。
- ・ 今回、ベビーカーは外に置いたが、雨の日だったら置く場所がなかった。次回は場所を考えること。

## カフェ

- ・ カウンターとして使用したロッカーの高さ、広さがカウンターとして使いやすかった。来場者にも好評だった。

## 外看板

- ・ 銭湯外に分かりやすい看板や目印があれば、より会場が分かりやすかった。
- ・ 銭湯の外でも音が聞こえるので、外看板があればもっと地域の人たちにもアピールできたかも。
- ・ 持ち歩ける看板とかあれば、会場の近くを看板もって宣伝できた。
- ・ 風船などを看板に使ってはどうか。風船だけで、何かやってると感じてもらえる。

## 音楽

- ・ 銭湯の自然の音響がとても良かった。
- ・ オカリナの音と音響がマッチしてて心地よかった。
- ・ オカリナの音が、会場の雰囲気と合っていて、癒された。
- ・ 司会や音楽にスピーカーやマイクが必要かと思ったが、無くても充分良かった。
- ・ 壁に歌詞を書いた紙を貼り付けた前田さんの準備がよかった。一緒に歌って一緒に手拍子できるような前準備をして、歌詞を貼るとかするとよかった。

## 会場内装飾

- ・ 飾りに使った風船に紐をつけておけば、閉会後に子どもたちにプレゼントとして配りやすかった。
- ・ あまり文字がたくさんあるものを展示しても、誰も読まない。

## おもちゃ

- ・ 音楽などを聴きながら、遊んでもらえた。

## 友だち

- ・ 来場者同士、知り合いじゃないのに、その場で仲良しになっていた。
- ・ そういうつながりをイベントを通じて持ってもらえてよかった。

## 昼寝マット・オムツ交換台

- ・ 昼寝マットは活躍していた。人が増えたらもっと増やした方がよい。
- ・ オムツ交換台も活躍していた。

## 受付

- ・ 受付は外での対応とは別に、2名が担当し、スムーズにできた。
- ・ 受付時に授乳場所やトイレ、オムツ交換台などの場所を伝えたほうが良かった。

## 異世代交流

- ・ 銭湯の雰囲気がわらわらしていて、みんな仲良くなれた。銭湯という場所だからこそ。
- ・ お年寄りの方も来てくれて良かった。
- ・ 折り紙とか、お手玉とかを通じて、異世代の交流が実現できた。

## 折り紙

- ・ 折り紙のコマは、子どもにもママにも大好評だった。
- ・ 嬉しそうに折りながら教えてる、おじーちゃん・おばーちゃんの表情が印象的だった。

## 入浴

- ・ 子どもたちが楽しくて、長湯にならないかと心配したが、大丈夫だった。
- ・ 浴槽の深いところに入ったりしないかと心配だったが、子どもたち自身も足や手が届かないところは入らなかった。
- ・ 浴槽を限定して2人で安全をキープした。3人いるとさらに良かった。
- ・ 参加した子どもたち、ほぼ全員が入浴した。予想外。
- ・ 子どもたちが長湯していたら親に声をかけた。
- ・ ママが自分の子どもの写真を撮影していたのが印象的。
- ・ 無く子もいたが、子どもたちもママも楽しそうだった。

## ステージ

- ・ ミカン箱か小さな高台が良いので、ちょっとした台があると、もっと見やすかったかも。カラン台とかがあつて、見えない人もいたと思う。

## 協力者

- ・ 演者の方々にも事前に銭湯を見てもらい、イベントの主旨や狙いをお伝えした。これに賛同いただけたことが今日の一体感につながったのではないかな。良かった。
- ・ それぞれ思いを込めて演じてくださった。
- ・ 通路で立ち話ししているひともいて、通行する人の邪魔になることもあった。

## 絵の具と粘土

- ・ 絵の具と粘土の両方をやるのではなく、1つで良かった。
- ・ もっとたくさん作って、絵の具の容器を増やした方が良かった。容器が少なかったなので、全員に行き渡りにくかった。
- ・ 筆ではなく、手で描いたことがよかった。安全だし。
- ・ 絵の具の色はもっと原色に近い方がよかった。
- ・ 絵の具や粘土を食べたりする子はいなかった。
- ・ 15分くらいで子どもは飽きてしまった。もっと短い時間でよかった。
- ・ 銭湯の男湯と女湯を移動できる裏口が機能的に使えてよかった。絵の具に飽きた子から順に入浴できた。
- ・ 入浴に備えて多くのママがタイルを持参していた。
- ・ 描いた紙に、子どもの名前をもっとスムーズに書けるようにすれば良かった。
- ・ 粘土をやるとするなら、何を作るかテーマを決めておくと良いかも。絵の具も同じ。

## 会場

- ・ 催し物が行われている場所（女湯）と、行われていない場所（男湯）がはっきり分かれていて良かった。（男女湯の場所を相互に利用したりしなかった）
- ・ 女湯は楽しむ場所、男湯は食事したり、くつろいだりする場所としての利用がされた。

## スタッフ

- ・ スタッフの目印となるスカーフがあって、スタッフかどうかが分かりやすくなって良かった。
- ・ 名札をつけたのは、スタッフであっても、自分たちの身分を明らかにすることが出来るから。どこ  
の所属のスタッフなのか、など。これは大切。
- ・ 名札に所属と名前を書いたことで、地域の団体達が協力し合っていることも PR できたのでは。

## 流れ

- ・ 午後は、演者から、次の演者へと紹介リレーする形で時間が流れていった。この流れがとても良かった。
- ・ 演者同士が紹介リレーすることで、縁者同士も横のつながりが出来るし。

## 昼食タイム

- ・ 昼食時間が、はっきり区切られていたので、来場者が落ち着いて食事をとることができた。

以 上